

1989.6月29

ちとせ 砧第2

# 二無い 運動のすすめ

(青少年対策砧第2地区)

自販機による不健全図書については、昭和四十七年頃から青少年に悪影響を及ぼすとの事で、問題として取り上げられました。特に世田谷区においては、地区対が中心となり、PTAの方々

の協力を得て、実態調査を行い、撤去について話し合い努力してきましたが、業界では自主規制も行われ条例が制定されましたが、一向に自販機の台数が少なくなりません。

今回の調査でも特に問題とされるバス停の前に設置されている販売機、マジックミラーがついて中身は見えませんが、夜になると目立ちます。通勤通学のバスを利用する場所だけに問題です。今まで何回となく場所提供の方と、再三撤去について協力をお願いしてきましたが、営業としているだけにむずかしい事です。

今日は、茶の間までボルノの映像が入り込み自販機による不健全図書なんか問題視されないようですが、古くて新しい問題と思います。かつて世田谷区に於いて二無い運動（読まない、買わない、持ち込まない）を提唱し推進して参りましたが、再び地域ぐるみで、この運動を進めて行つたらよいのではないかでしょうか！

最後になりますが、不健全図書が巷に氾濫していても、強くたくましく、青少年が成長していく事を望んでおります。それに親が姿勢を正し家庭環境づくりに努力し、学校と地域の三つが一体となり、青少年の健全育成に努めましょう。(K・K)

この三月砧第2出張所長を最後に定年退職致しました。

在職中は皆さんに大変お世話になり本当にありがとうございました。お陰様でこの地区の「まちづくり」も他の地区より一步進んだ成果をあげられ、皆様の暖かいご指導お力添えの賜物と心から感謝しています。

これからも町会さんを中心いろいろな団体・個人の方々が一緒に道路清掃でも、花でも、子供の事でも、アイデアだけでも、自分の出来るごとに力を貸していただけたら、この地区は少しでも、もっとと素晴らしい町になると思います。

退職前の五年間をこんな良い町で、心暖かい皆さんに囲まれて過ごせたことを心から幸せに思っています。本当にありがとうございました。(深澤駿一)

前砧第2出張所長退職の挨拶

大島新出張所長は、この三年間、区の建築行政のなかでもっとも住民と結びついた窓口として相関係の責任者として仕事をされた方です。区内三

地域のうち、主として本所地域を担当されておりました。年々増加するこの種の相談事(三階以上・高さ一〇メートル以上の建築にかかるトラブル・プライバシー問題)日暮問題に、住民の立場に立つて実際に細やかな配慮と、真面目にかつあらゆる努力を傾けて臨んでこられました。

職場が変わってもこの基本姿勢は変わらないでしょう。せまらざるところがありますが細かな神経の持主であることに理解を。(旧職場同僚取材)



大島 信之 砧第2出張所長

努力家で細かい配慮の持主

# ちとせ

砧第2

編集委員会  
発行：堀江 貞雄  
編集責任者  
事務局：砧第2出張所内  
電話：(482)0343  
1989.6. NO.29



像が入り込み自販機による不健全図書なんか問題視されないようですが、古くて新しい問題だと思います。かつて世田谷区に於いて二無い運動（読まない、買わない、持ち込まない）を提唱し推進して参りましたが、再び地域ぐるみで、この運動を進めて行つたらよいのではないかでしょうか！

最後になりますが、不健全図書が巷に氾濫していても、強くたくましく、青少年が成長していく事を望んでおります。それに親が姿勢を正し家庭環境づくりに努力し、学校と地域の三つが一体となり、青少年の健全育成に努めましょう。(K・K)

この三月砧第2出張所長を最後に定年退職致しました。お陰様でこの地区の「まちづくり」も他の地区より一步進んだ成果をあげられ、皆様の暖かいご指導お力添えの賜物と心から感謝しています。

これからも町会さんを中心いろいろな団体・個人の方々が一緒に道路清掃でも、花でも、子供の事でも、アイデアだけでも、自分の出来るごとに力を貸していただけたら、この地区は少しでも、もっとと素晴らしい町になると思います。

退職前の五年間をこんな良い町で、心暖かい皆さんに囲まれて過ごせたことを心から幸せに思っています。本当にありがとうございました。(深澤駿一)

前砧第2出張所長退職の挨拶

葭根 昭和二十年ころの  
まち グリーンベルト地域

葭根は、船橋、五丁目と六丁目の旧地名(字名)である。五丁目は、経堂の街、特にすずらん通り、恵泉通りの影響を受けて、昭和二十年代には田畠より家並みが目についた。六丁目は、水道辺の西南に大島土地の分譲が始まった昭和二三年頃より新しい家並みが見られるようになり、それまでは数件の農家が、あつただけである。農家の庭には、大きなケヤキやカシの木があり、また竹やぶのある家もあって、まさに

野鳥の園であつた。田も、昭和二十年代は烏山川の水で水稻を作っていた。

大島分譲地の西側はグリーンベルト地帯(廻沢、上祖師谷へと続く)で、建ぺい率、容積率とも10%であった。100mの二階家を建てるのに100mの土地が必要だった。

明治のころより、田舎のよばひいいた農家(高木家、井上家、等等)が、大島土地の分譲を始めた。昭和40年代後半で、大島はまだ農業地帯だった。昭和20年代の地価が坪(3.3坪)当たり、畠で1000円、田で、200円位だった。

100坪位を買って、あとは地主より借地して建築申請を出した人もあったようだ。ちなみに、二五年頃、高校新卒の月給が四千円位だったので、一ヶ月の給料で畠の购买計算だ。それで、その当時には、借金ま

第一回  
フリーマーケット開催に感謝  
明るい選挙とフリーマーケットとの接点はと聞かれた時、地域の人達とのつながりを持ち、活動を知つて頂くことがひとつにある。

近年、物の大切さをみんなが考へている時、眠っている品物を、使い手が変わることで再び生かされる。生かされた品物の喜びの声が聞こえてくることだけでも意義はあると思う。

第一回の出店数三二店、第一回六〇店と倍、お天気に恵まれ、明るい声で売り手と買い手が楽しそうに話し、笑い、値段が決まる時もある。多少の収入になつた様子。

る。

出席できない場合は寄付になる。出席

(三瓶 恵美子)

★ 参加者にクイズをして頂いた。  
『せいかい』 ×です。

《問題》娘の結婚祝いに、同じ区内に住む知人の議員に、出席はできないがと、三万円もらつた。特に選挙のときではないし常識的な額なので、これはかまわない。皆さんは、どう思いますか?

社協会費徴収について

七月一日より八月三一日まで行います。

日赤奉仕団砧第2分団

お知らせ  
出張所では7月7日より、住民票処理を電算で行います。窓口で、お待たせすることがあるかも知れませんが、宜しくお願いします。

物事はあまりむずかしく考へないで、気の付いた人が行動に移すことで仲間づくりが広がり、楽しい一日が待つていてごとに感謝しながら、第三回へとつなげて行きたいと願つていて。

編集後記

色あざやかにアジサイの花が咲き梅雨空の中でひとときわ美しく、心を和ませてくれます。心は和んでも、腹はなごませぬよう食中毒に気をつけましょう。

